ParaFla フラッシュフリーソフトの使い方

1. ソフトのダウンロード

1)インターネットよりダウンロード

ダウンロード元(URL: http://www.geocities.jp/coa9999/download.html)

| Par | aF | la! | | |
|------------|----------|----------|----------|------|
| TOP | ParaFla | ParaDra | w Downlo | bad |
| Download - | ダウンロー | - 14 - | | |
| ParaFla & | ParaDraw | | | |
| Software | Version | Build | Size | Note |
| ParaFla | 1.38 | 20100714 | 1,362KB | 1973 |
| ParaDraw | 0.3a5 | 20110109 | 1,114KB | .803 |

2)フォルダの解凍

Zip 形式でフォルダがダウンロードされますので解凍します。

2. SWF・HTMLファイル作成の初期準備

| 1) 解凍 | えれた | フォルダ | 🔰 parafla138 | を開き | 🔻 parafl | a.exe | をクリッ | ク |
|-------|------|-------------------------------|------------------------|---------------------|-------------|-------|---------------|--------------|
| ①作 | 業ウイン | ンド図1が | 開きます。 |] , | | | | |
| | | (新規) - Para ファイル(F) 編集 | Fla K(F) 表示(D) プレビッ | -(P) <u>^</u> #7(H) | | | | - O X |
| | | No File | | | かント「 種別 | - 1 1 | 〒度 イベント | (647.2) 332. |
| | 図1 | ID 和別 1 <u>未</u> 材ファ- | ファイル名 イルをここにドロップ |] | | | | |
| | | | | | | | | |

②ファイル→プロジェクトのプロパティ図 2 を開き作成するHTMLファイルのサイズを 決めます。(初期値は 320 になっています)。

| $\mathbb{X}2$ | 一基本設 | 定 |
|---------------|------|-----|
| | 幅 | 320 |
| | 高さ | 320 |
| | FPS | 12 |

ページー杯ですと800X800 小さくすると200X200 程度 ③ファイル→詳細設定を開きSWF生成時にHTMLも保存するにチェツク図3を入

れます。 図3



3. 画像の挿入

1)背景画像(固定)

作業ウインドに背景となる画像を順番に作業ウインドの左下へドラッグします。

(背景は ID を 1 にします。 背景を最初にドッラッグする)

2)その他の画像

作業ウインドに順次ドラッグします。(GIF は不可)

4. テキスト(文字・エフェクト)挿入

- 1)フォント・サイズ・テキストの記述
 - ①作業ウインドの左下を右クリック→アイテムを追加→テキストをクリックすると
 - ファイルのプロパティ図4が開きます。



②テキストの設定に文字を書ます。

- ③必要に応時、太字・.斜体にチェツクを 入れます。
- ④フォント・サイズを決めます。(初期は フォントの前にアンダバーがついてい ますが、このフォントは使えませんの で他のフォントを選択してください。

2)テキストエフェクト

①適切なフォントに変更するとファイルのプロパティの下部が図5のように変わるので テキストエフェクトにチェツクを入れると、テキストエフェクトが図6表示されます。



②フレームインのカウントに50~100程度のフレームを入れます。

③エフェクト種別の右三角をクリックして好みのエフェクトを選択し、プレビューを クリックして状況を確認します。

④良ければOKをクリックして完了です。

5. イベントに追加

図1の作業ウインド左下に画像・テキストのファイルが挿入されていますのでそれ ぞれファイルを右クリックしてイベントに追加を選択します。

(全てを選択して一度に行うこともできます)

例示ですがイベントを追加すると作業ウインドの右に図7ようなファイルが表示されま す。

図7

| 1 1 1 0° 1 0° 1 1 0° 1 <t< th=""><th>\land</th><th>71-4</th><th>カウント</th><th>種別</th><th></th><th>深度</th><th>1</th><th>べつト (メイン)</th><th>200 	imes 200</th><th>12fps</th><th>SWF6</th><th></th><th></th></t<> | $ \land $ | 71-4 | カウント | 種別 | | 深度 | 1 | べつト (メイン) | 200 	imes 200 | 12fps | SWF6 | | |
|---|-----------|------|------|--------|-------------|-------|-----|-----------|---------------|-------|---------|------|----------|
| Time (k 0011 1 [(0,0) ×1 0°](固定) Solution Solution | | 1 | | 「画像 | 0001 | 0 | [| (0,0) | ×1 | 0° |] (固定 |) | |
| 300 300 一画像 0002 2 [(185,186) ×0.4 0°]→(13)→[(-20,- 301 300 一画像 0002 3 [(14,142) ×0.4 0°]→(13)→[(250,- 601 -600 アウション □ □-い ⁵ ック □ 1 300 〒大入ト 0003 4 [(25,50) ×1 0°]→[(25,120) | ſ | | | 「一面像 | 0011 | 1 | [| (0,0) | x1 | 0° |](固定 |) | |
| 301 300 習面像 0002 3 [(14,142) ×0.4 0°]→(13)→[(250,- 601 -600 アウション ロールパック 1 300 アウスト 0003 4 [(25,50) ×1 0°]→[(25,120) | 1 | | 300 | 「一面像 | 0002 | 2 |] | (185,186) | ×0.4 | 0° |]→(13)- | →[| (-20,-20 |
| $[601]$ -600 \overline{P} 2 γ 1 300 $\boxed{1}$ 7 $+$ 3 λ 0003 4 [(25,50) ×1 0°] → [(25,120) | | 301 | 300 | 11 画像 | 0002 | 3 |] | (14,142) | ×0.4 | 0° |]→(13)- | →[| (250,-10 |
| 1 300 $\boxed{1}_{77}$ 1 0003 4 [(25,50) ×1 0°]→[(25,120) | | 601 | -600 | アクジョン | 2010/07/201 | 20502 | D-1 | がっり | | | | | |
| | | 1 | 300 | 🖹 テキスト | 0003 | 4 | [] | (25,50) | ×1 | 0° |]⇒[| (25, | 120) |

6. イベントの編集(画像・テキストの配置)

1)背景画像の固定

①作業ウインド右の背景(固定)となる画像をクリックします。イベントのプロパティ図8が開きます。

図8

| ファイルID | | 1 | □ 固定画面 深度 □ | i | | ፈላንን <mark>ት</mark> ጋይየ | (<u>P</u>)-r* |
|----------------|-------|---|----------------|---------|-----|-------------------------|-----------------|
| ንレームカウント | | ÷ | -256(背面 | i)~256(| 前面) | 通常画面 | にする |
| - 描画位置 X: [| 0 サイズ | 1 | 腪度 | • | | ► | 777 0% |
| Y: | | 0 | 不透明度 | • | | | 100% |

②IDは1とします(背景はIDを1にする必要があります)

③固定画面にするをクリックして固定にします。(通常画面/固定画面が繰り返します)

2) 画像の変化(直線的)

①作業ウインド右にある画像をクリックしましフレームカウントを 300 とすると
 図9が開きます。

| 🔻 イベントのプロパテ | 4 | | - |
|-----------------------------------|---------------------|--|-------------------------------------|
| ファイルID フレームカウント | 2 300÷ 255(省[| 町 2 〒)~255(前田) | イベントプレビュー(P) く 固定画面にする |
| 相画位置 X: 185 ♥ ズ Y: 186 単度 | 0.4 輝度 0 7C透明度 | € <u>• </u> | マスク ▶ 0% ▶ 100% |
| 移動先 X:20 サイズ Y:20 月度 | 0.2 輝度 0 不透明度 | € <u> </u> | ▶ 0% ▲ ▶ 100% 詳 |

②描画位置・移動先のXYをかえると画像が移動します。て、色々変えて画像の 動きの様子を見ます、フレームカウントを大きくすると動きが遅くなります。

③描画位置・移動先のXYを同じにすると画像は停止していします。

④サイズを任意に変えると拡大・縮小が表示できます。

⑤描画位置・移動先のXYをかえ、サイズを任意に変えると複雑な表示になります。

以上をトライアンドエラーで決めてください。

⑥IDは2とします。自動的につきます。(1でなければ可)

⑦深度は1(固定画面の次であれば可)

以上をトライアンドエラーで決めてください。

⑧その確認はイベントプレビューをクリックして行います。適用をクリックしOK すると確定されます。

より簡単な方法

又イベントプレビューの右にある、くの字をクリックするとイベントのプロパティ の右側に図10が開き画像の表示移動の状況が確認できます。



図10に表示された画像を目的の位置へドロップして移動しても動く画像になります。

この方法の方が画像の移動についての設定が視覚的に確認できるので操作が 簡単です。

図9

2) 画像の変化(曲線的)

①描画位置・移動先に画像を表示させガイドをクリックすると図11の様に直線で 結ばれます



②ガイドをクリックして→曲線を選択しカーソルポインタを線上に正確に置き右ク リックしたまま移動すると任意の曲線図12ができます。数か所ポイントして曲線 を作ります。



③その確認はイベントプレビューをクリックして行います。適用をクリックしOK すると確定されます。

3)テキストエフェクトの表示位置確

テキスト(文字・エフェクト)は4. で作成済なので、作業ウインドの右にある該 当のテキストファイルをクリックしてイベントのプロパティのくの字をクリックし内 容を表示させ位置を調整確認します。

4) 画像・テキストの表示順序

①作業ウインドの深度の順番でテキスト・画像が表示されます。

一つのファイルが終わると次のファイルが始まります。

②画像の深度を同じにするとスライドショーになります。

表示時間はフレームカウントの数によります。

(フレームカウントが多ければ表示時間が長くなります。

③同一画面に複数のファイル(画像やテキスト)を表示させるには該当のファイルの深度をシリーズにしてファイルを作成します。 該当の画像・ファイルを必要なフレーム迄ロールバックさせます。 該当の画像テキストを右クリック→アクションの挿入を選択→アクションの設定



| | -アクションの設定 |
|-------------|------------------|
| S1 0 | アクション <ロールバック> 🔹 |
| 图13 | フレームカウント -100 |
| | マイナス値を入力してください |

→アクションにロールバックを選択します。

→フレームカウントにマイナス数字を入れます。(表示したい深度の画像まで のフレームカウントを遡る)

→適用をクリックして完了です。

5) 画像・テキストテキスト全体の確認

図1の作業ウインドのプレビューをクリックすると動き全体の動きを確認できま す。

6)その他

このままですと繰り返し表示されエンドレスです。 止めたい時はファイルの最後の行にアクションの設定をします。 アクションは停止を選択すると止まります。 画像をボタンにして他のホームページにリンクすることもできます。 アクションの設定にさまざまなアクションの種類がありますのでトライしてみてくだ さい。

7.その他

1)保存ファイル

①作業ウインド→ファイル→名前をつけて保存をクリック

データファイルPFLができます。

②次に作業ウインド→ファイル→フ SWF ファイル生成をクリックします。

フラッシュファイル SWF ファイル生成ができます。

③詳細設定→SWF ファイル生成時に HTML も保存するにチェックを入れたので SWF ファイルと同時にHTMLファイルも作成されます。 2)ホームページにアップ

①HTMLファイルとSWFファイルをアップしてHTMLファイルをリンクして下さい。

②PFLファイル・画像ファイルはHTMLファイルとSWFファイルを修整する時に 使います。

3) サンプル(200X200の小さいサイズです)

- ① サンプル1
- ② <u>サンプル2</u>
- ③ サンプル3